

エイディーハウスの住まいの疑問に答えます！

自然素材のQ&A

最近の自然志向の高まりから、住宅にも自然素材を求める傾向が強まっています。自然なものに囲まれた自然な暮らしができる家、そんな「ナチュラル・スタイル」はお洒落な家づくりの形として大人気です。その流れを受けて今や自然素材であることをつたわらない住宅会社など無い「大・自然住宅時代」にあります。その一方で果たして自然素材とは何か、何が良いのか、あまいなこと多いようです。今回は皆さんが抱えている自然素材への疑問や質問についてお答えいたします。

自然素材の家とはどんな家？

自然素材でできた家と聞いてどんな家を想像するでしょうか。無垢材や天然由来の素材がふんだんに使われていること、人と環境に優しいこと、様々なイメージを持たれていると思います。そうした中、共通して持つ印象は、やはり「自然素材は健康に良い」ということです。特に小さなお子さんのいる家庭やアレルギー疾患をお持ちの方にとっては、心と体の健康を保つためには自然素材は欠かせないと思われるでしょう。さて、この「自然素材」には、実は決まった規定がないため、何をもちて自然素材、自然素材の家と言うのかは各住宅会社の判断に委ねられています。

一般的にはビニルクロスや合板、化学製品を含んだ製品を使用していない家を自然素材の家と呼ぶようですが、家の全ではなく一部分に自然素材を使用しただけで「自然素材の家」と宣伝する住宅会社もありますし、化学物質を含んだ自然素材でも、主成分が自然素材なら問題ないとして「自然素材の家」と称することもあり、それはどれも間違いではありません。

それはどれも間違いではありません。自分の思い描いていた自然素材の家が、出来上がって見たらかなり違うという事態も起きてしまいますので、家づくりの際には目的や求めているものに

業者と認識にずれがないか、よく確かめることが大切です。

それは本当に自然素材ですか？

およそ20年ほど前にシックハウス症候群が問題になり、新築や改築後の体調不良や深刻な健康被害について広く知られるようになりました。その頃建築された住宅は、新建材と呼ばれる安価で大量生産された化学系建材が多く使われており、そこから発散される有害物質が原因となつたこと、また高気密化が進んで換気が不足し、室内の空気が汚れやすくなつたことも要因となつています。その後平成15年には建材に使用する化学物質が制限され、強制換気を義務付ける法律が制定されました。今では新建材は安全性が等級(F等級)で証明されており、ホルムアルデヒドなどの有害物質の発散量が多い、等級の低いものは使用できなくなつたので、以前よりも室内環境の良い住宅ができるようになってきました。それでもシックハウス症候群への不安感は強く、化学物質のものは一切使いたくないと願って安心できる自然素材を求める方は増加しています。そうした中、無垢材の床や珪藻土の塗り壁を安心な自然素材だとして標準採用する住宅会社も増えていきます。しかしその無

垢材をよく見ると表面にウレタン塗装をしていたり、珪藻土には凝固剤が入っていたりと、かなり紛らわしいものも多くあります。ウレタン塗装も凝固剤も安全性に問題のないF等級の高いものを使っているはずですが、特別悪いものではありませんが、わずかでも含まれていると化学物質に敏感な方はあつたという間に反応が出てしまいます。恐らくウレタン塗装をしてしまうのは傷防止の表面強化のためであり、珪藻土の凝固剤とは自力で固まることのできない珪藻土を施工しやすくするための手段として用いたと思われるのですが、結局は工期短縮とコスト削減、のちのクレーム対策のためなど、住宅会社にとって都合のよいやり方をしていくだけに過ぎません。本物の自然素材を必要としている人がこのような住まいを選んではまいと取り返しがつかないことになりす。いかにも安全そうな無垢材、塗り壁という言葉に惑わされず、しっかりと内容も確かめておきましょう。

住宅に添加物？住宅が無添加？

また最近「無添加」という表示の住宅も見られるようになりました。無添加とはもともと食品に対して使う言葉でしたが、これも明確な定義がなく、まるで添加物が一切使われていないような良い印象があります。が、実際は「特定の添加物がない」とを指している場合がほとんどです。つまり、着色料が入っていても保存料が入っていないければ「無添加」と表記できてしまいます。無添加の住宅と云われるものにも同じことが起きており、殺虫剤不使用という「無添加の木」でも化学的な防カビ剤は使っているなど、マイナス面と捉えられそうなのは公表しない例も多く見受けられます。もちろん、違法でない限り薬剤の使用は認められています。無添加をうたうのなら何が無添加なのか、どんな意味があるのか、説明を求めましょう。自ら使う材料についてよく理解している業者ならば明確に答えられるはずです。

自然素材にまつわるQ&A集

これまで住宅展示場などを巡られてきた方から、特によく受ける質問をまとめました。ご参考下さいませと幸いです。

Q1

床暖房をするなら、無垢材は使えないと言われたのですが本当ですか？

エイディーハウスの住宅見学会に来られた方で一番驚かれるのが「床暖房なのに無垢材を使っていること」です。他の住宅会社から、無垢材は床暖房の熱で割れや反れが生じるので諦めるか、または床暖房用の無垢材はあるが高価だとの説明を受けたようです。確かに、電気床暖房ではその熱は約50℃とかなり高温になるので、無垢材の使用は難しいでしょう。しかしエイディーハウスが採用している蓄熱式床暖房は床の表面温度が25℃前後に保たれ、急激な温度変化がないので無垢材にダメージを与えません。無垢材をウレタン塗装で強化する必要もなく、自然な無垢材のよさを味わうことができます。25℃では寒いので心配かもしれませんが、床面から放射される熱は人体に最も良い遠赤外線となつて温かさが得られ、床下から一定の温度で家全体を優しく温めるので寒さはありません。無垢材に適した床暖房法を選べばよいだけです。

Q2

有害物質を含まない自然素材の家なら、24時間換気は必要ありませんか？

もとはシックハウス対策の一つとして制定されたと言われる「新築住宅の24時間換気義務」について、この法律をご存知の方から、有害物質が発生しない家なら電気代を払ってまで24時間換気しなくてもいいのではと質問がありました。建材自体に有害物質が発散するようなものがなくとも、家具やプラスチック製の日用品から、また炊事の際に出る油煙や水蒸気、人体から出る二酸化炭素など、日常生活からは常に汚れが発生しています。現代の住宅は高气密・高断熱化しており、適切に換気を行わなければ室内環境は悪化します。独自の判断で換気を止めることは避けて下さい。また、漆喰や珪藻土の壁、無垢材などの素材は呼吸するから換気は必要ない、という話を聞いたという方もいらっしゃいました。確かに調湿作用はありますが、水分の含有量には限度がありますし、漆喰壁や無垢材に空気清浄機のような空気の浄化能力がある訳ではありませんので、やはり換気は必要です。

Q3

自然素材はメンテナンスが大変なので、やめた方がいいと言われました。

最近のビニルクロスはそれなりに安全で、中には防臭加工やイオン加工、汚れ防止機能など、様々な技術を取り入れたものも多くあります。一見手軽で便利そうですが、これらの効果が永久に続く訳ではなく、いずれは退化します。化学製品の問題点は、材質の劣化が意外に速いことと、劣化した時に美観が著しく損なわれることです。その点、無垢材を始めとする本物の自然素材は経年変化が美しく楽しみのも一つにもなっており、普段のお手入れも決して手間がかかりすぎることはありません。また、補修が必要になつたときでも半永久的に対応できるのが自然素材の強みです。人と環境に優しく、長続きする住まいのためには、やはり自然素材を選びたいところです。

エイ・ディーハウスでは・・・

17年前から室内の壁にはドイツ製の「ルナファーザー」「オガファーザー」を標準使用。ウッドチップと紙でできたエコロジーな壁紙はシンプルで美しく、強靭でしなやか。通気性と吸湿性に優れており、カビや結露を防ぎます。通常はこの上に安全な水性塗料でペイントし、住まい手の健康と快適性、環境への配慮を第一に考えて仕上げを行います。外壁には白洲そとん壁を使用。マグマの超高温焼成物であるシラスは多孔質で透湿機能に極めて優れており、住居材に最適。抜群の防水効果で住まいを雨水からしっかり守ります。高耐久性で劣化が少なく、独特の雰囲気の魅力が魅力的で、その味わいを永く楽しむことができます。



ルナファーザー オガファーザー
この上に塗料を10回塗り重ねることができます。

白洲そとん壁
100%自然素材で完全防水
質感、色ともに他にはない風合

エイ・ディーハウスでは・・・

木材は30種類以上の中からデザインや好み、用途、予算に合わせて選定。木材の特徴を理解しているからこそできる使い分けで、快適かつ美しい空間を実現します。室内床に使う無垢材は安全なオイル塗装で保護するほか、仕上げ材には漆や柿渋など自然素材を使用。無垢材や自然素材の良さを十分に体感できる、安心で安全な仕上がります。その他、それぞれの木の特徴を活かせるもの、用途に合わせたものにするなど、その都度適切な塗料を選定します。外部に使用する木材は耐久性を高めるため、化学薬品ではなく科学的な処理(アセチル化処理、高熱木材乾燥法など)を施したものを使用します。



常時展示の木材サンプル

木種や用途に合わせ、ご希望の色などを伺いながら数種の自然塗料から選別。

漢字パズルに挑戦!

前回の天秤パズルには、難しかったけどやり甲斐があった!というお声と共に、多数のご応募を頂き、誠にありがとうございました。正解は重い順から「D⑩→A⑧→E⑥→C④→B③」でした。正解された方に商品を送らせて頂きました。今回はまた「漢字パズル」ですので是非挑戦して下さい。パズルに正解されたご応募者の方から抽選で10名様に、トラヤ・カフェのあんの瓶詰め「あんペースト(こしあんレギュラー)」をお送りします。トラヤ・カフェは高級羊羹でおなじみの虎屋が展開する、和菓子カフェのお店。京都で5世紀に渡り、和菓子店を営んできた虎屋が、伝統の技術を生かして練り上げた自慢のあんを活かし、現代風にアレンジしたお菓子を数々生みだしています。「あんペースト」は、虎屋のこしあんに様々な材料を加えてペースト状にした、ジヤム感覚のあんです。色、つや、味について厳選された北海道産小豆が使われ、あんの風味をしっかりと残しながらもどこか斬新な味わいが魅力的。メープルシロップが入っているせいかペンととても相性が良く、またヨーグルトやアイスクリームなどの乳製品とも好相性です。ミルクやお湯で伸ばしたお汁粉風の飲み物にするのもお勧め。あんの優しい甘さと新たなおいしさを存分に楽しむことができます。クイズの解答ができました方はご住所とお名前をご記入の上、弊社までご郵送、またはメールにてお送り下さい。応募締切りは平成28年11月30日です。



おすすめは「あんペースト」に香ばしく焼いたトーストにたづき和風という概念を取り混ぜ、新しい味わいを発見。お気に入りの方を見つけて下さい。

編集後記

編集者Yの実家近くの大きな公園の横にマンションが建つそうです。駅に近くて生活が便利なことは間違いなし、街並みもよく周りの環境は抜群。もともと人気のある場所だから、多少高くても即完売だろうなあ。でも自

分だったら買わないだろうなど咄嗟に感じたのはなぜ?どうもそのマンション予定地が引つかかるんですね。周りに建物が並んでいるから分かりづらいけど、四方八方からの緩やかな下り坂の終点になった「谷」だし、その上変形した三叉路に挟まれた三角地。あまり縁起が良くない気がする...編集者、科学的な根拠がないものは信じないので、いわゆる風水や家相もほとんど気にしません。第一、職業上いちいちこだわっていたら仕事になりませんし(笑)それでも、何か気にかかる。まあ風水や家相も、単なる迷信に過ぎないものもある。利にならなっていることもたくさんあるのです。谷地はダメと言われるのは水はけの悪さを指摘しているのだから、三角地が凶なのは建物の配置が難しく無駄なスペースが多くなるからわざわざ選ぶな、という意味でしょう。これも現代の技術力をもってすれば何でも解決できる。それは分かっていますけどね...そう言えば今までも、いろいろな店が建つては2、3年で消えていった。場所はいいのに。そういう契約だったのかも。しれないけど、やっぱり何かあったんじゃないの?!(笑)土地や建物は、一生を左右するとても大きな買い物です。何か少しでも気になったり、悩んでなかなか決断がつかないという場合は止めた方がいいです。結婚と同じで(?!これもやはり縁というものがあります)すんなりと決められた時はその後も問題ないことが多いですが、最初から揉めた場合は前途多難に陥りやすいもの。縁起を気にする方は十分にこだわってよし、気にならなければそれでハッピー。この先長く暮らすのですから、気持ちもスッキリしないまま決めるのはよくありません。要は自分自身が幸せに暮らすことができそうか、その姿を想像できることがまず一番。「これはいいな」「こはちよつ」という直感はかなり大事です。ただし、現実的なことを付け加えるならば、土地建物に大安売りはないので、安いから即決という直感だけはアテになさいますように。安い物件には必ずそれなりの理由が隠されていますので、「そのワケ」は入念にお調べ下さいね。

工事NEWS

** 最新の現場ニュースはホームページをご覧ください ** エイデーハウス 掲載



■たつの市 T様邸新築工事

現在外部足場がなくなり、外構工事の準備中です。内部の方も並行してクロス工事に入っています。続いて、クロス塗装、器具付け、木製建具つり込み...など、今から残り約一か月の間で急ピッチに仕上げていきますが、段取りよく工事を行い10月末の引渡しに間に合うように頑張ります。もちろん引渡し前に完成見学会を行う予定ですので、多数のご参加お待ちしております。

もちろん引渡し前に完成見学会を行う予定ですので、多数のご参加お待ちしております。



■たつの市 D様邸新築工事

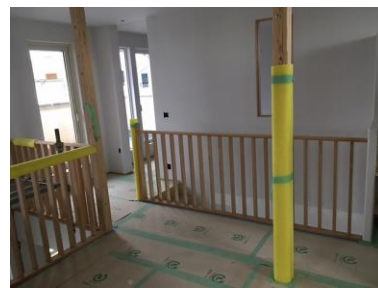
9月11日に地鎮祭を行い、現在基礎工事中です。建築概要として外壁はおなじみのそとん壁を塗り、色は白色の予定です。屋根はガルバリウム鋼板の縦ハゼ葺き、壁が斜めの加工をしており、真四角の雰囲気とは異なった外観となっています。内部は、オガファーマーの壁紙ではなく、メーカーの違った紙クロスを施工する予定です。もちろん塗装箇所もございます。床材も木材の他、ペット仕様の床材を部分的に使用いたします。来年の4月上旬の完成を目指して頑張ります。



■姫路市 T様邸新築工事

現在足場を解体し、仕上げ工事の真っ只中です。住設機器やコンセント、照明器具、建具などの取り付けをおこなっています。床の仕上げ材は1Fがチークで2Fは杉です。キッチンの造作カウンターもチーク材です。すごくいい感じに仕上がってきており、つくる側としても完成が楽しみです。10月中旬に見学会開催予定ですので、多数のご参加をお待ちしております。

すごくいい感じに仕上がってきており、つくる側としても完成が楽しみです。10月中旬に見学会開催予定ですので、多数のご参加をお待ちしております。



■太子町 I様邸新築工事

現在造作工事が完了し、クロス工事、タイル工事などの仕上げ工事をおこなっています。10月引き渡しに向けて進めていきます。キッチンには特製の作業台を設けるなど、いろいろなこだわりポイントがたくさんつまっている素敵な住まいです。家具や建具がついていくと更にいい感じになりそうです。



■たつの市 U様邸新築工事

9月19日に上棟する予定でしたが、台風の関係上21日になり無事上棟しました。姫路市の設計事務所の物件で、外観は私が今まで経験したことのない珍しい形です。現場の大工さんと念入りに打合せを行う予定です。年内には足場を解体する予定ですので、完成をお楽しみに。進行状況は随時ブログに掲載しようと考えていますので、よろしくお願ひします。

お楽しみに。進行状況は随時ブログに掲載しようと考えていますので、よろしくお願ひします。



■姫路市 M様邸新築工事

現在外部の木部等の塗装と左官の下塗り工事が終了しました。10月頭に上塗り工事を行い、その後フード、アンテナ、樋の工事と順次進めて行き、10月中旬ごろに足場の解体予定です。内部では一階二階の壁の断熱気密の工事が完了しました。引き続き、一階二階のボード貼り工事と家具工事が始まる予定です。

住宅完成見学会のご案内

10/15.16 姫路市にて 10/22.23 たつの市にて
完成見学会の開催を予定しております。詳細なご案内はHPに掲載いたします。是非ご覧下さい。

前回イベント報告 9月25日(日)開催

「キッチンマイスターが造る 天然大理石キッチンのある家」
実際にお暮らしの家を体感して頂ける見学会でした。ご協力頂いたオーナー様、ご参加下さった皆様誠にありがとうございました。

